

# 2017年9月期 第2四半期決算説明



## 【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

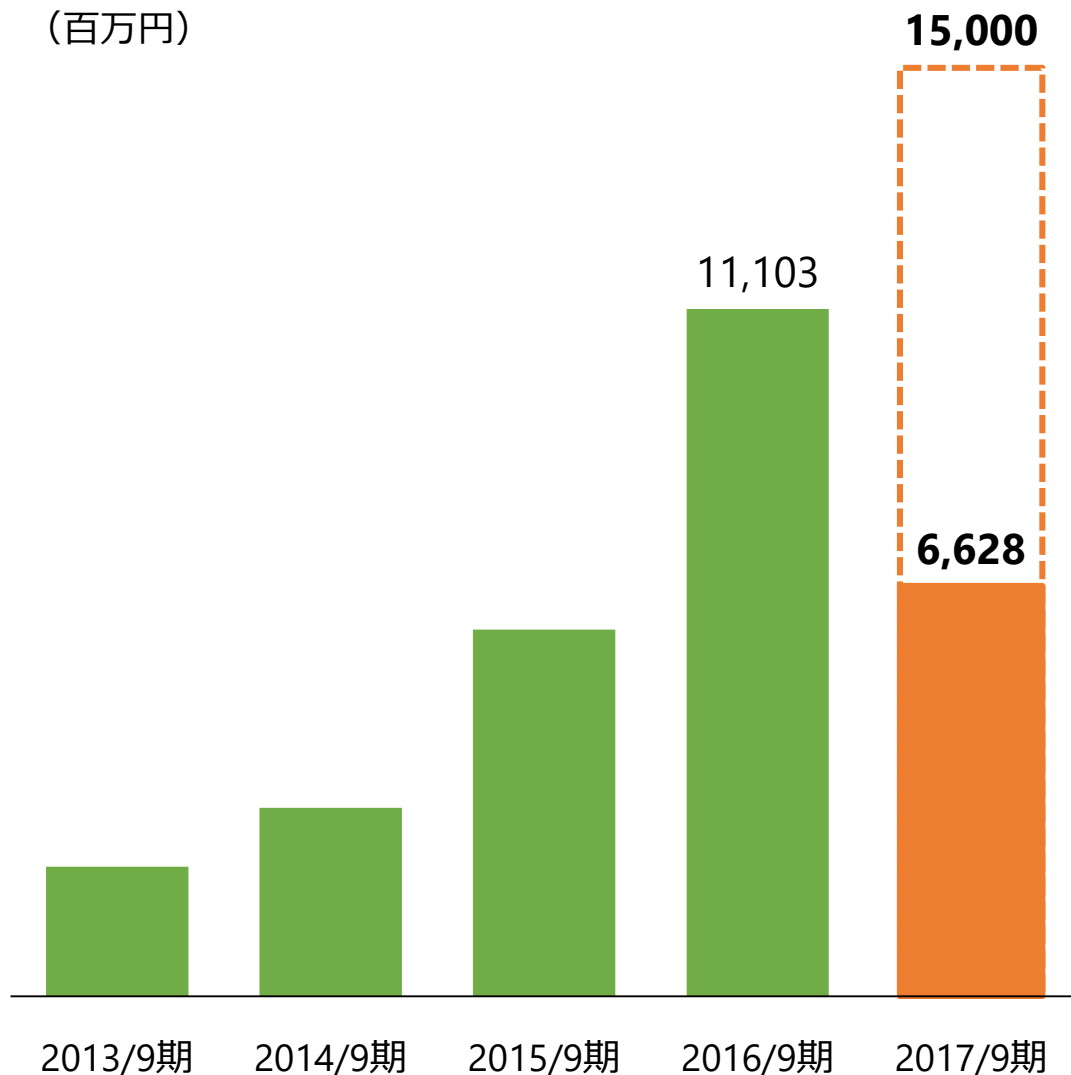
株式会社ユーグレナ

2017年5月

# 2017年9月期 上期決算ハイライト

# 業績推移一売上高

(百万円)



## 年度目標の 達成に向けて 計画的に進捗



直販向け商品  
「ユーグレナの緑汁」

# 業績推移—営業利益・経常利益

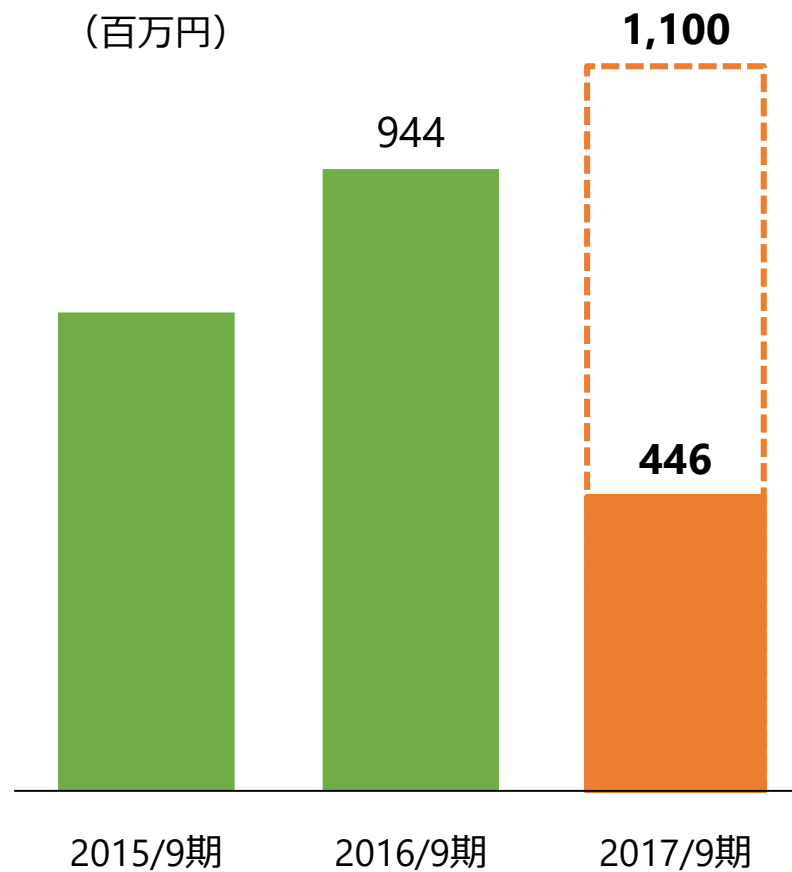
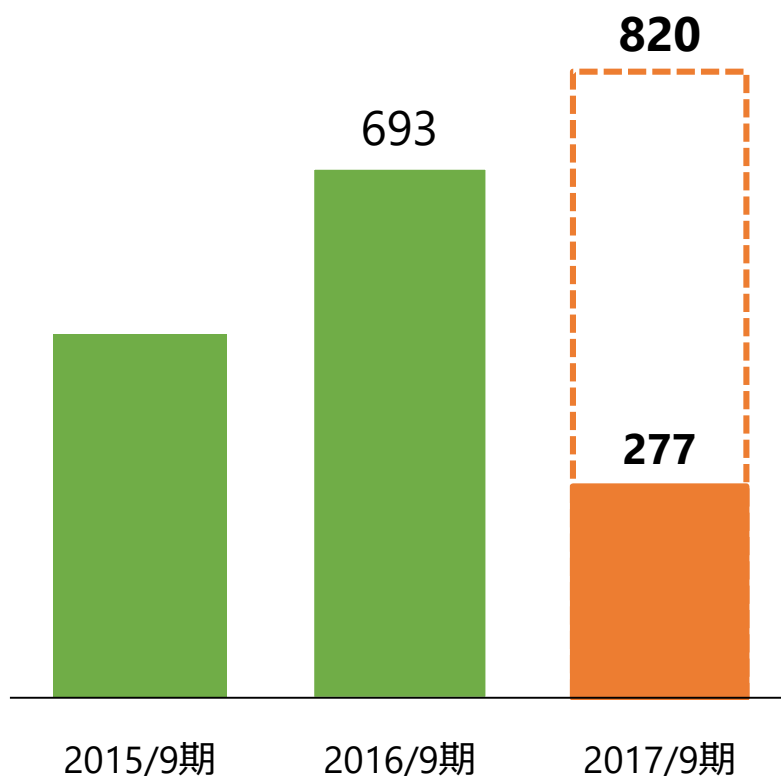
上期に成長投資を優先した結果、利益の伸びは限定的

営業利益

経常利益

(百万円)

(百万円)



## 2017年9月期（第13期）の連結業績予想と進捗

概ね計画通りの上期進捗を踏まえ、通期業績予想は据え置き

(百万円)	2016年9月期 実績	2017年9月期 上半期実績	2017年9月期 通期業績予想	進捗率
売上高	11,103	6,628	15,000	44%
営業利益	693	277	820	34%
経常利益	944	446	1,100	41%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	673	301	690	44%

## 中期経営目標

中期経営目標（2016年11月発表）に向けて引き続き事業を推進

**2020年9月期まで**に以下の2項目を達成すること：

### 1 グループ<sup>o</sup>連結売上高**300億円**

- グループ直販で売上高200億円を確保
- グループ流通と海外事業も収益寄与度を拡大
- M&Aを積極的に実施

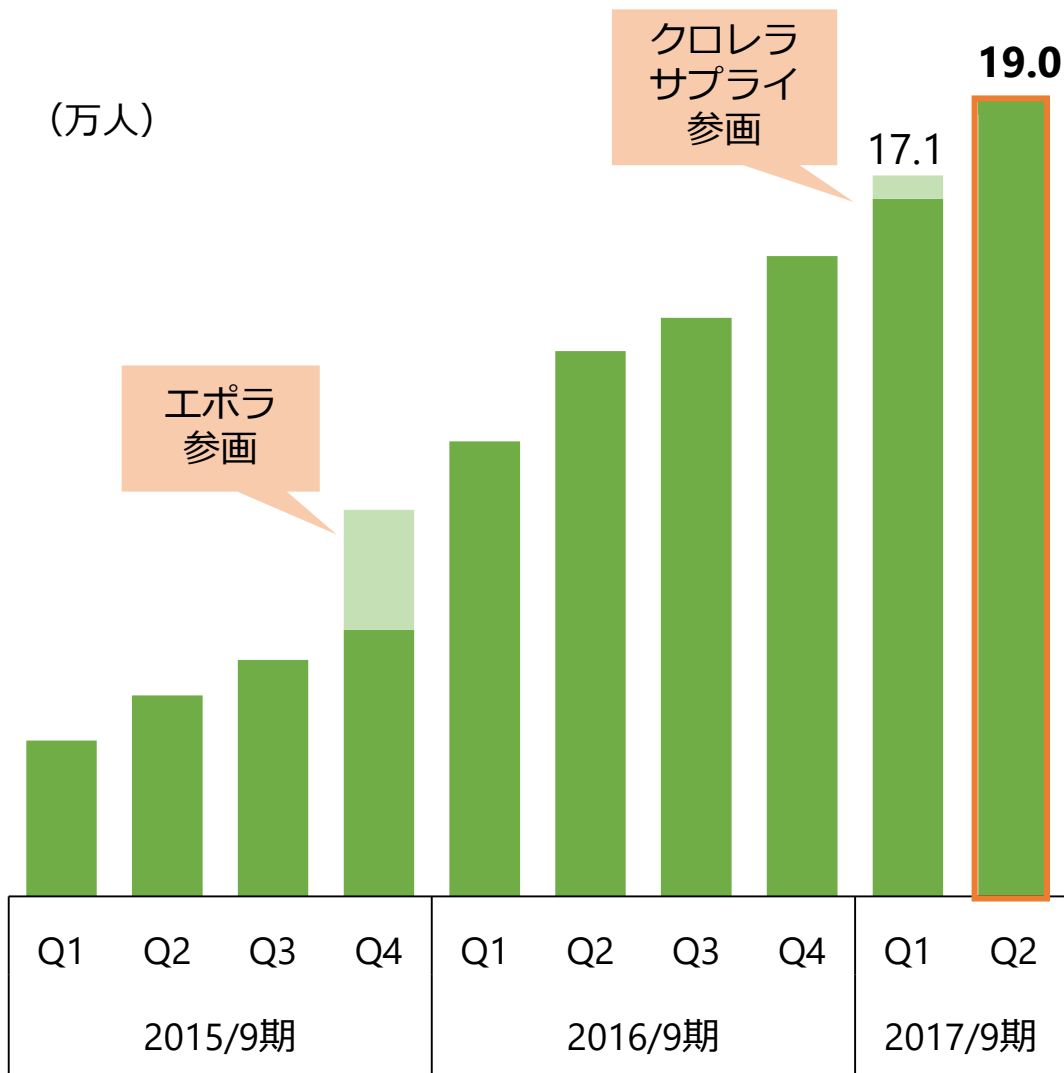
### 2 国産バイオジェット・ディーゼル 燃料の実用化：**国産バイオ燃料計画**

- 実証精製プラントを完成させ、バイオ燃料の供給を開始
- バイオジェット燃料による商業フライトを実現
- バイオディーゼル燃料による公道走行を実現

# ヘルスケア事業 上期ハイライト

# グループ直販一定期購入者数推移

(万人)



通販化粧品「one」  
の成長が牽引し  
グループ直販  
定期購入者数は  
**19万人**に到達



注： クロレラサプライ社は2016年12月1日付で当社グループに参画しましたが、会計上は2016年12月31日をみなし取得日として連結対象としております。

通販化粧品「one」の定期購入者数定義の見直しを行い、2017/9期Q1より遡及修正しております。



# グループ直販一商品ラインナップの拡充

## 多様な顧客ニーズに合わせた**新バリエーション**を提供

### 「緑汁」シリーズ



2012/4発売商品  
『ユーグレナの緑汁』  
※2017/4よりデザイン刷新

### 「one」シリーズ



2015/5/16発売商品  
スキンケアブランド  
『one オールインワンクリーム』

### 「メディカプラス」シリーズ



2015/5/16発売商品  
サプリ新シリーズ『メディカプラス  
プロテオグリカン、ノコギリヤシ、  
ブルーベリー&ルテイン』

前期迄

今期  
新商品



抹茶味

2017/1/4~販売開始

粒タイプ



2017/2/1~販売開始

『one オールインワンクリーム  
エモリエントリッチ』  
2016/12/5~販売開始



『one メルティング  
アロマクレンジング』  
2017/4/3~販売開始



2017/4/10~販売開始  
『メディカプラス イチョウ葉&DHA、  
テアニン&ラフマ葉、甘草グラボノイド』

# グループ直販ーM&AによるOEM先の垂直統合

OEM先のヘルスン社及びイースター社がグループ参画に合意  
広告宣伝・商品開発での連携およびブランド価値向上に向けた取組を強化



期待されるシナジー

名称	ヘルスン (株) ※平成29年6月1日付でイースター (株) がヘルスン (株) を吸収合併し、同日付で商号を「ヘルスン (株)」に変更予定
所在地	東京都千代田区
事業内容	ユーグレナ商品及びその他の健康食品の製造及び通信販売等
主力製品	  パウチタイプ    ボトルタイプ

- 当社グループ入りに伴う広告宣伝効果の改善およびブランド価値の向上
- 当社との連携による商品開発力の強化
- グループへの統合に伴う業務効率化による販売管理費の削減

(百万円)	2018/8期 (計画)
売上高	305
営業利益	64
経常利益	64

# グループ流通—商品ラインナップの拡充

## 商品バラエティの多様化により顧客層と販路の拡大を目指す

前期迄

カートカン飲料  
『飲むミドリムシ』シリーズ



『飲むミドリムシ』  
2014/5発売  
※2017/2より  
デザイン刷新

化粧品ブランド『B.C.A.D.HOMME』、  
『Before After euglena cosmetics』



メンズスキンケアシリーズ  
『B.C.A.D. HOMME  
トータル エマルジョン』  
2015/11発売

今期  
新商品



『飲むミドリムシ 乳酸菌』  
2017/2/1発売

『飲むミドリムシ  
グリーンティー』  
2017/4/4発売



『B.C.A.D.HOMMEスキン  
マネジメントセラム』  
2017/2/20発売



『B.C.A.D.HOMMEウルトラ  
ポリュームスカルプシャンプー』  
2017/2/20発売



スキンケア成分配合  
メイクブランド  
『Before After euglena cosmetics』

2016/11/5発売

# OEM・原料・海外一海外事業の拡大

## 中国本土での展開に加え、シンガポールにて新商品販売開始

中国本土

2017/9期 発売商品

OEM  
商品



自社  
商品



euglena

統園

70%出資  
原料・自社商品  
提供

30%出資  
OEM先紹介

上海ユーグレナ

一般小売流通  
(自社商品)

Web販売  
(自社商品)

OEM取引先  
(随時開拓中)

一般顧客

シンガポール

「Euglena P-3」

自社グループブラン  
ド製品として初の海  
外向け専用製品



2017/4/25より販売開始

euglena

一般小売流通

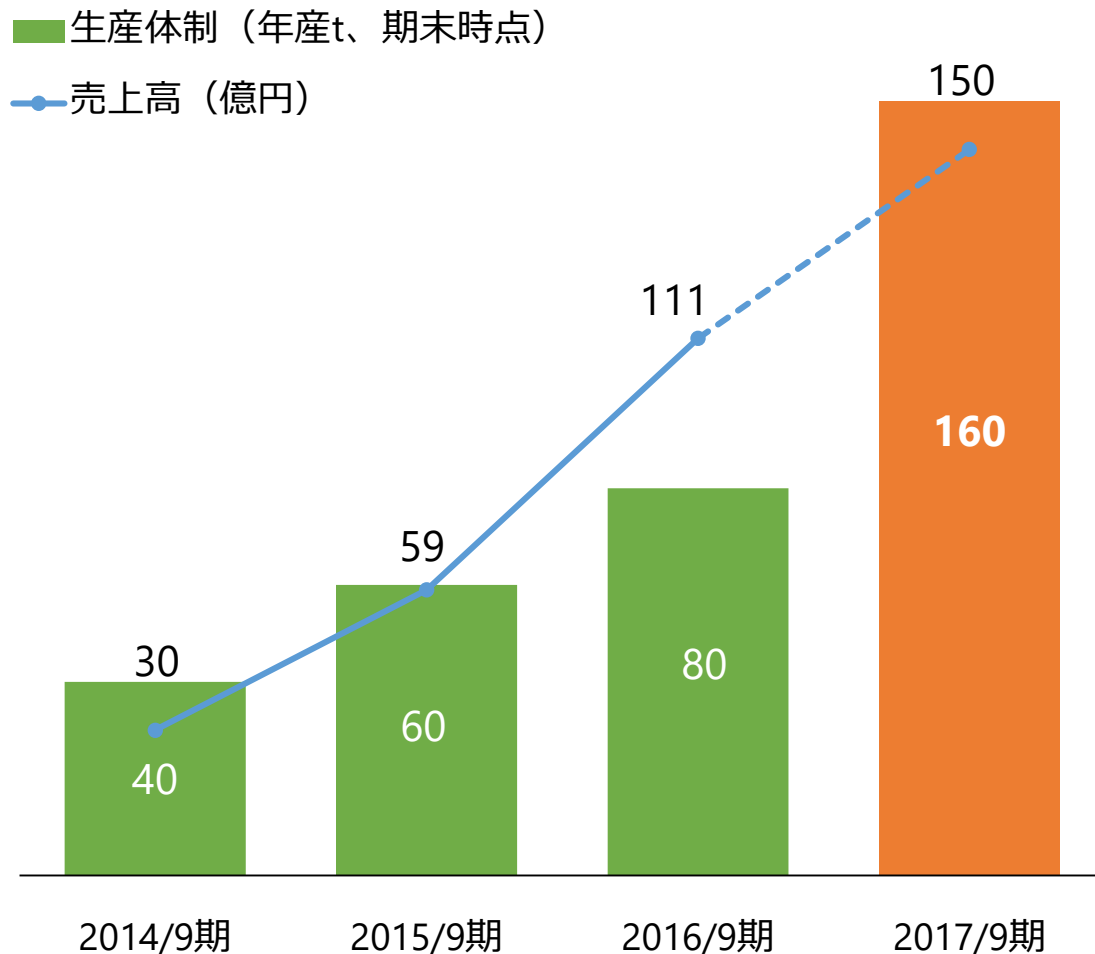
ECサイト  
(現地企業経由)

一般顧客

# 生産設備の増強

## ミドリムシ生産体制を年産160tに倍増

2017年2月1日より本格稼働。ミドリムシ市場の需要増加に対応



石垣島で生産される当社ユーグレナ粉末

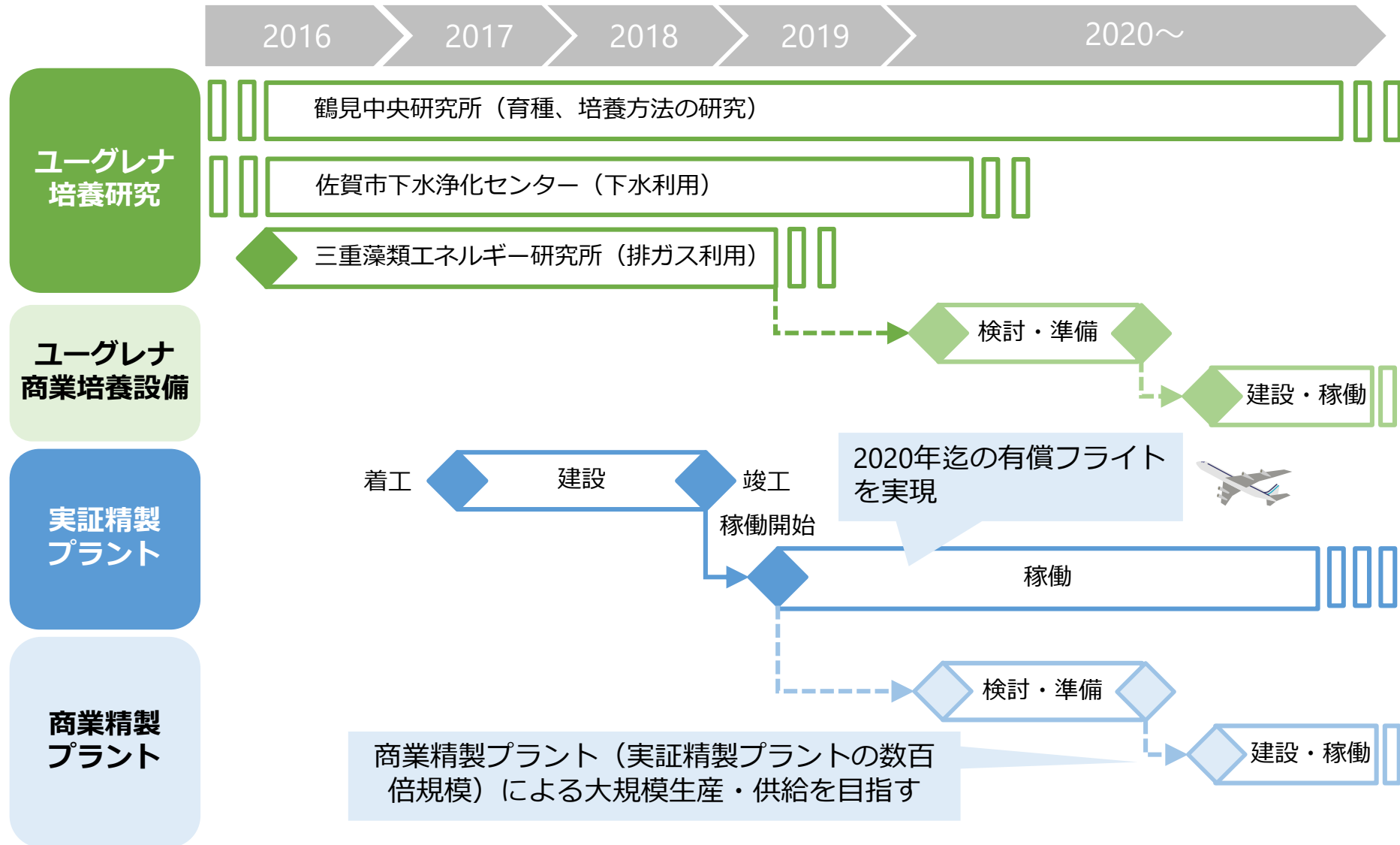


2017年1月23日 竣工式の様子

# エネルギー・環境事業 上期ハイライト

# バイオ燃料事業化に向けたロードマップ

大量培養研究と実証精製プラントで得た知見を元に**商業化を目指す**





# 国産バイオ燃料計画—実証プラントの建設準備完了

## 2017年2月10日、千代田化工建設と工事等請負契約を締結

2018年10月末完成で建設スケジュールが確定

敷地：	旭硝子（株）京浜工場内（神奈川県横浜市鶴見区）
敷地面積：	7,787.6m <sup>2</sup>
製造能力：	日産5バレル
製造量：	年産125KL
生産品目：	バイオケロシン（ジェット燃料）、バイオディーゼル、バイオナフサ
採用技術：	Biofuels ISOCONVERSION Process （Chevron Lummus Global / ARA社よりライセンス供与）
投資総額：	約58億円※
スケジュール：	2017年6月1日 着工、2018年10月31日 竣工、2019年前半 稼働



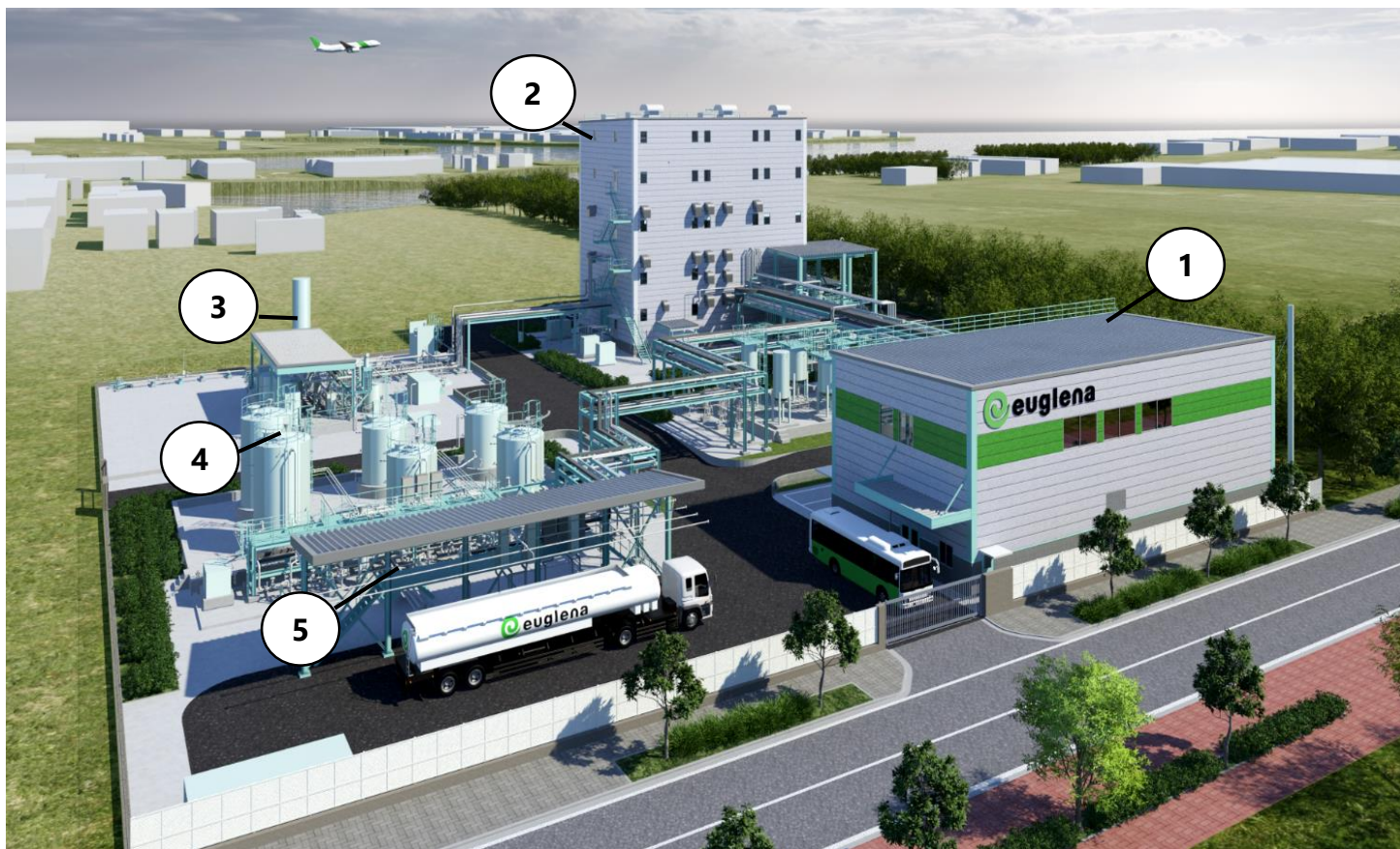
注：今次締結した工事等請負契約における契約金額のほか、実証プラントに関連する基本設計費用、土地整備用等の諸費用（一部は既に支払い済み）を含む金額です。また、本実証プラントはバイオジェット燃料及びバイオディーゼル燃料の実用化に向けた実証研究を目的に建設されるため、本実証プラントに係る投資額は、物件引渡日をもって研究開発費として一括費用計上する予定であります。



# 国産バイオ燃料計画—実証プラントの最新完成イメージ図

## 基本設計の完成により、実証プラントの**完成イメージも精緻化**

2019年前半のバイオジェット・ディーゼル燃料の生産開始に向けて前進

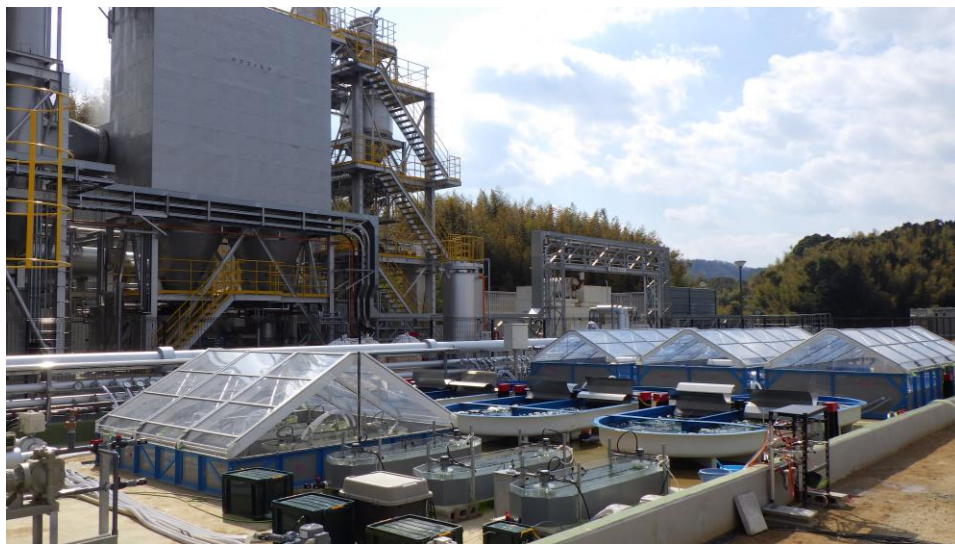


①事務棟 ②反応装置棟 ③用役設備 ④貯蔵タンク ⑤出荷場

# ユーグレナの生産技術開発—三重県多気町プロジェクト

## 試験運転用プールの立上げが完了、運用を開始

今後は本実証用の大規模培養プールの建設準備に着手



建設施設名	藻類エネルギー研究所
実施内容	隣接する多気バイオパワー(木質バイオマス発電所)から排出される排ガス、排水、排熱を利用した微細藻類の培養を実施
目的	燃料用微細藻類の大規模・低コストでの生産技術の確立
建設地	多気クリスタルタウン 工業ゾーン内
培養プール 総面積	3,000㎡以上 (2018年度完成時)

euglena



※平成28年度は「平成28年度微細藻類燃料生産実証事業費補助金」の対象に認定

# ユーグレナの生産技術開発—飼料利用

## ユーグレナ粉末の飼料利用における機能性を確認

- 1 比内地鶏の体重増加と肉質改善

  - 地鶏モモ肉に含まれるDHAなどの脂肪酸が有意に増加
  - 2017年3月 日本家禽学会にて発表
- 2 羊からのメタン排出量が減少

  - 家畜のエネルギー損失を抑制し、環境負荷の軽減につながる
  - 2017年3月 日本畜産学会にて発表
  - 国際特許出願中
- 3 羊のたんぱく質消化率と蓄積効率が向上

  - 2017年2月国際誌Animal Feed Science and Technologyに掲載

# その他の進捗



# ユーグレナGENKIプログラム

## 今年度は子供達へ約200万食分のクッキー配布を計画

効果測定のための血液検査にも着手



### 実施概要

配布物： ミドリムシ入りクッキー  
(1食分=6枚入り1袋、約230kcal/約50g)

実施期間： 2014年4月より、休日を除く週6日  
(1日1食、期限無し)

実施場所： ダッカ (バングラデシュの首都) のNGOが  
運営する小学校

- 2014年度実績：11校
- 2017年4月末時点：39校

対象者/  
配布数： 上記小学校に通う児童

- 2015年度実績：約5,000人/日
- 2017年4月末時点：約8,000人/日

仕組み： 当社及び協賛企業対象商品1個につき  
10円を寄付

専用HP：<http://www.euglena.jp/business/genki/>



# 2017年9月期 上期業績分析

# 財務サマリー（四半期セグメント別 連結損益計算書）

(百万円)	2014/9期					2015/9期					2016/9期					2017/9期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q
<b>売上高</b>	<b>701</b>	<b>752</b>	<b>731</b>	<b>862</b>	<b>3,046</b>	<b>1,162</b>	<b>1,380</b>	<b>1,582</b>	<b>1,800</b>	<b>5,924</b>	<b>2,340</b>	<b>2,890</b>	<b>2,952</b>	<b>2,921</b>	<b>11,103</b>	<b>3,273</b>	<b>3,355</b>
グループ直販	154	173	199	254	779	476	582	659	927	2,644	1,447	1,751	1,748	1,889	6,836	2,115	2,366
グループ流通	28	49	73	93	243	159	175	299	343	976	439	419	436	405	1,699	411	406
OEM・原料・海外	513	525	452	503	1,993	504	590	588	506	2,188	412	629	581	419	2,041	733	535
その他	7	5	7	13	32	22	34	36	25	116	42	91	186	208	528	14	48
売上原価	290	293	259	355	1,198	387	443	536	538	1,905	653	743	794	776	2,966	816	876
<b>売上総利益</b>	<b>411</b>	<b>459</b>	<b>472</b>	<b>507</b>	<b>1,849</b>	<b>775</b>	<b>937</b>	<b>1,046</b>	<b>1,262</b>	<b>4,019</b>	<b>1,687</b>	<b>2,147</b>	<b>2,158</b>	<b>2,145</b>	<b>8,137</b>	<b>2,457</b>	<b>2,479</b>
粗利率	59%	61%	65%	59%	61%	67%	68%	66%	70%	68%	72%	74%	73%	73%	73%	75%	74%
販売管理費	369	440	446	450	1,706	715	808	911	1,109	3,543	1,656	1,724	1,807	2,257	7,443	2,178	2,480
販売費(※)	172	228	227	247	873	445	515	577	713	2,251	1,179	1,262	1,268	1,681	5,390	1,568	1,855
（内 広告宣伝費）	111	147	138	127	523	242	246	316	392	1,196	722	719	707	1,071	3,219	981	1,056
人件費	91	97	99	101	388	110	114	148	173	546	196	210	241	243	889	276	313
管理費(※)	69	65	79	58	271	116	99	123	146	484	209	172	205	224	809	239	206
研究開発費	37	50	42	45	174	44	79	64	76	262	71	80	93	109	354	95	107
<b>営業利益</b>	<b>41</b>	<b>19</b>	<b>25</b>	<b>57</b>	<b>142</b>	<b>60</b>	<b>129</b>	<b>134</b>	<b>153</b>	<b>476</b>	<b>31</b>	<b>423</b>	<b>352</b>	<b>-112</b>	<b>694</b>	<b>278</b>	<b>-1</b>
営業外損益	-26	16	45	14	49	21	102	67	60	250	44	45	125	37	251	24	145
（内 助成金収入）	0	14	40	0	54	0	95	37	38	170	14	25	94	21	155	2	118
<b>経常利益</b>	<b>16</b>	<b>35</b>	<b>70</b>	<b>70</b>	<b>191</b>	<b>81</b>	<b>231</b>	<b>202</b>	<b>213</b>	<b>726</b>	<b>75</b>	<b>468</b>	<b>476</b>	<b>-75</b>	<b>945</b>	<b>302</b>	<b>144</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	7	18	45	49	118	54	140	127	148	470	111	318	323	-78	673	209	92

◆参考指標

減価償却費 （内 M&A関連）	8.8	11.7	22.0	20.9	63.4	19.9	33.9	34.5	47.3	135.6	40.1	57.1	57.0	78.1	232.3	64.9	89.7
のれん償却額	0.9	0.9	0.9	0.9	3.6	0.9	0.9	11.8	21.1	34.7	29.0	14.9	21.9	47.1	113.0	21.0	27.4

注：

上記テーブルの数値は百万円未満を四捨五入しており、開示数値および本決算説明資料のチャート記載値（百万円未満を切捨て）と一致しない場合があります。本決算説明資料において、売上高の内訳分類に関して見直しを行い、「その他」計上額の一部を「グループ流通」「OEM・原料・海外」と過去に遡って区分変更した他、2016/9期に関してクロレラの区分を修正いたしました。このため、部分的に過去の公表データと異なっている箇所があります。また2016/9期より過去3期分のカード決済手数料、コールセンター委託費用を管理費から販売費へ組換えた為、販売費及び管理費が過去の公表データと異なる場合があります。

# 財務サマリー (連結貸借対照表)

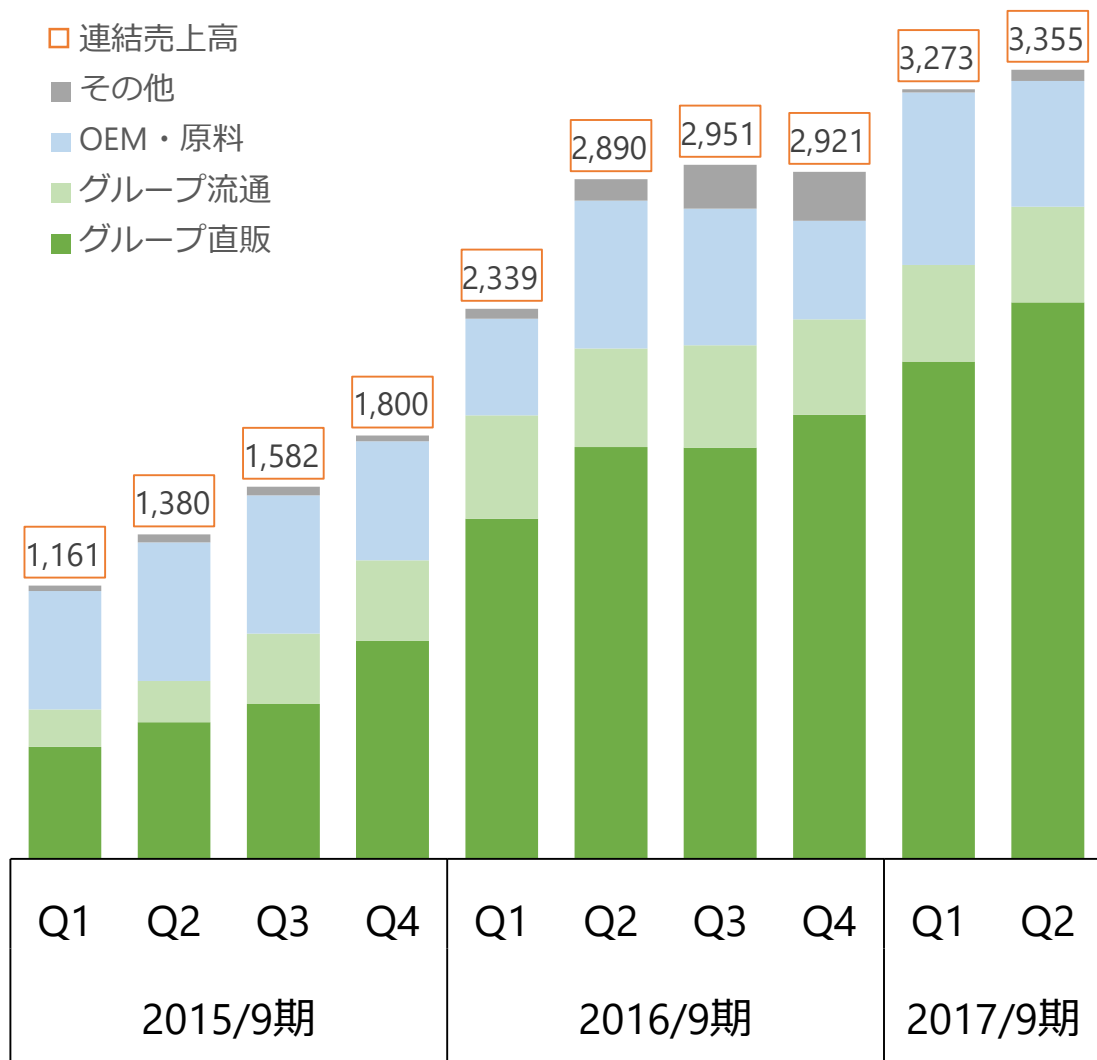
(百万円)	2014/9末	2015/9末	2016/9末	2017/3末
<b>流動資産</b>	<b>7,313</b>	<b>8,605</b>	<b>11,354</b>	<b>10,499</b>
現金及び預金	6,346	6,221	6,799	7,034
有価証券	0	573	2,404	401
その他	967	1,810	2,150	3,063
<b>固定資産</b>	<b>3,966</b>	<b>5,918</b>	<b>4,171</b>	<b>6,558</b>
有形固定資産	849	1,624	2,472	4,765
無形資産	64	1,174	1,237	1,429
投資その他の資産	3,053	3,118	461	362
(内 投資有価証券)	2,982	2,968	289	101
<b>資産合計</b>	<b>11,280</b>	<b>14,523</b>	<b>15,526</b>	<b>17,057</b>
<b>負債</b>	<b>834</b>	<b>1,821</b>	<b>2,103</b>	<b>3,311</b>
流動負債	622	1,393	1,611	1,720
(内 短期借入金)	0	253	12	145
固定負債	212	428	491	1,590
(内 長期借入金)	21	72	59	1,207
<b>純資産</b>	<b>10,445</b>	<b>12,701</b>	<b>13,422</b>	<b>13,746</b>
株主資本	10,440	12,662	13,407	13,728
(内 利益剰余金)	947	1,417	2,090	2,392
その他	4	39	14	18
<b>負債純資産合計</b>	<b>11,280</b>	<b>14,523</b>	<b>15,526</b>	<b>17,057</b>



# 業績推移—四半期売上構造

(百万円)

- 連結売上高
- その他
- OEM・原料
- グループ流通
- グループ直販



化粧品通販への  
積極投資で  
直販が成長



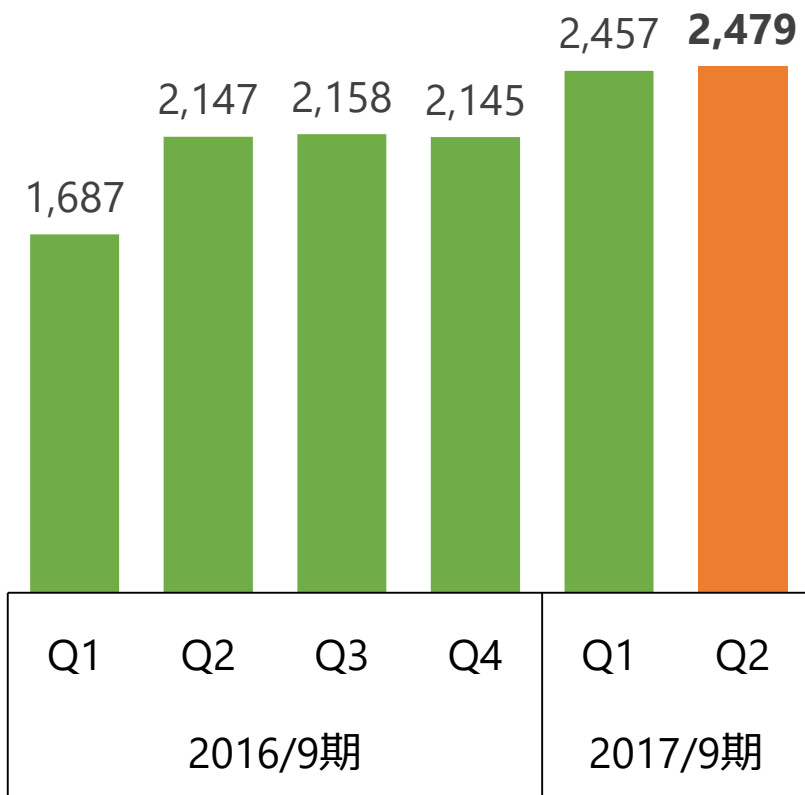
# 業績推移—売上総利益、粗利率

## グループ直販比率は拡大するも、粗利率は第2四半期に微減

化粧品通販成長に伴う初回割引購入者の増加が一因

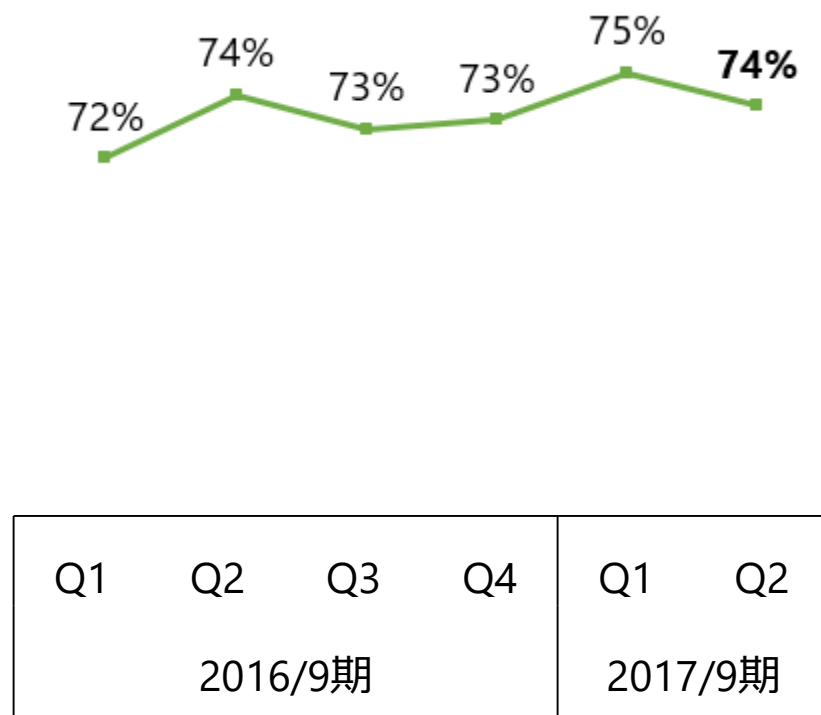
### 売上総利益

(百万円)



### 粗利率

(%)



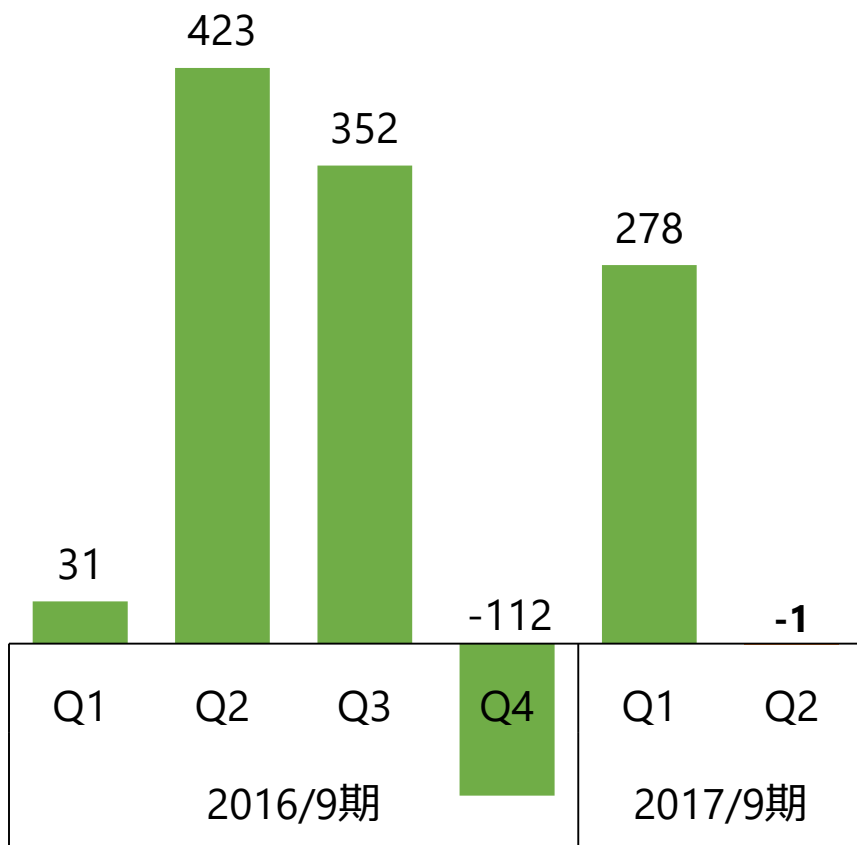
# 業績推移—営業利益、販管費率

## 販売費率の増加等により、第2四半期は営業赤字に

通販化粧品の実績投資・株主優待利用増加・コールセンター移管が主要因

### 営業利益

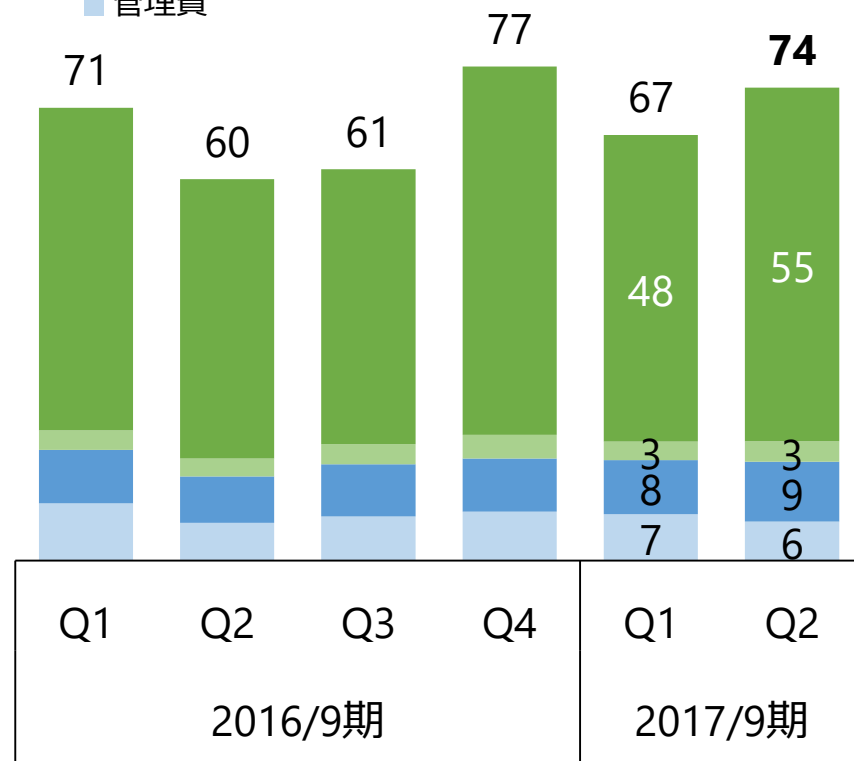
(百万円)



### 販管費率 (対売上高)

(%)

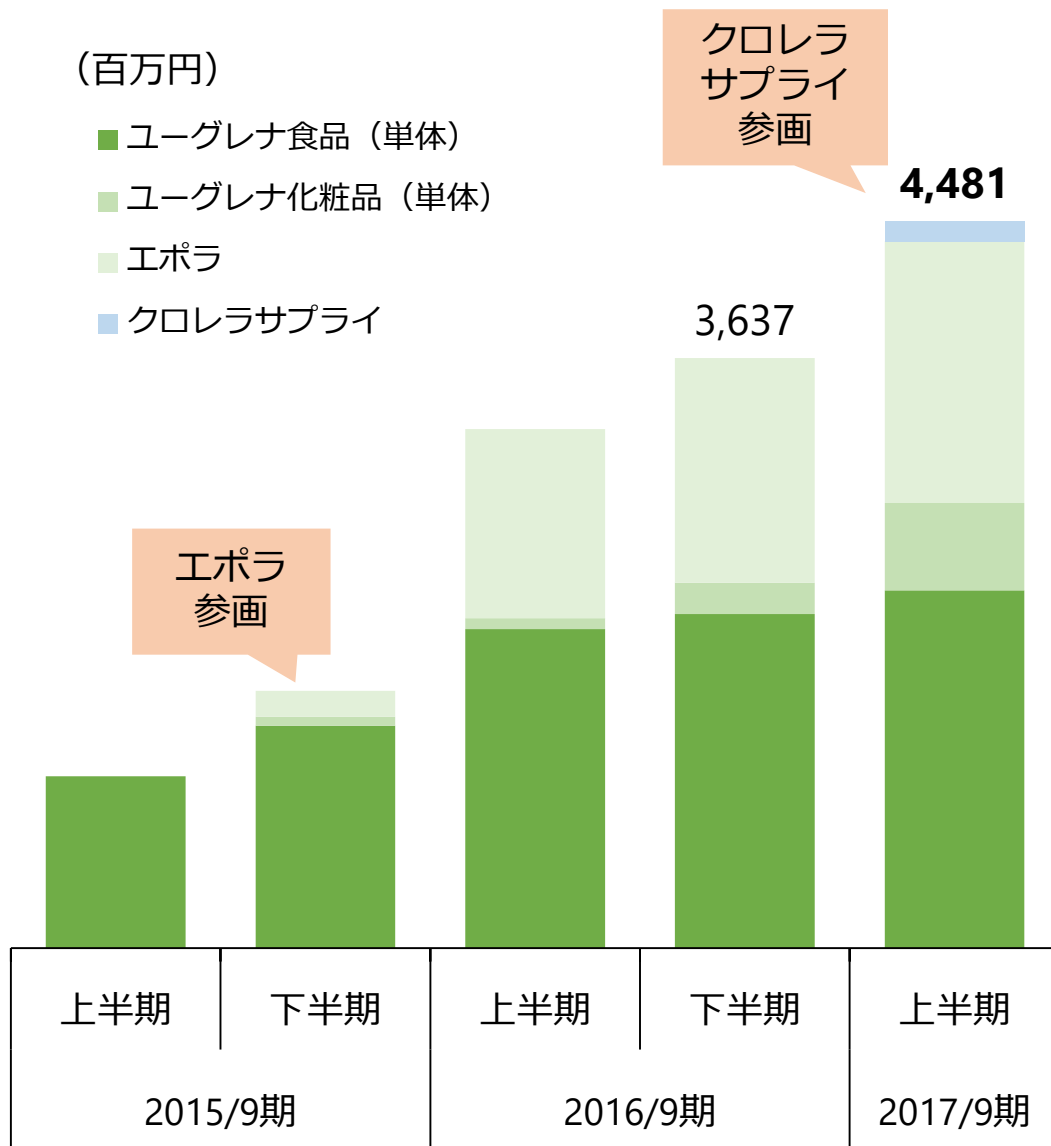
- 販売費
- 研究開発費
- 人件費
- 管理費



# 業績推移—グループ直販売上構造

(百万円)

- ユーグレナ食品 (単体)
- ユーグレナ化粧品 (単体)
- エポラ
- クロレラサプライ



通販化粧品「one」  
シリーズが  
グループ直販の成長  
を牽引

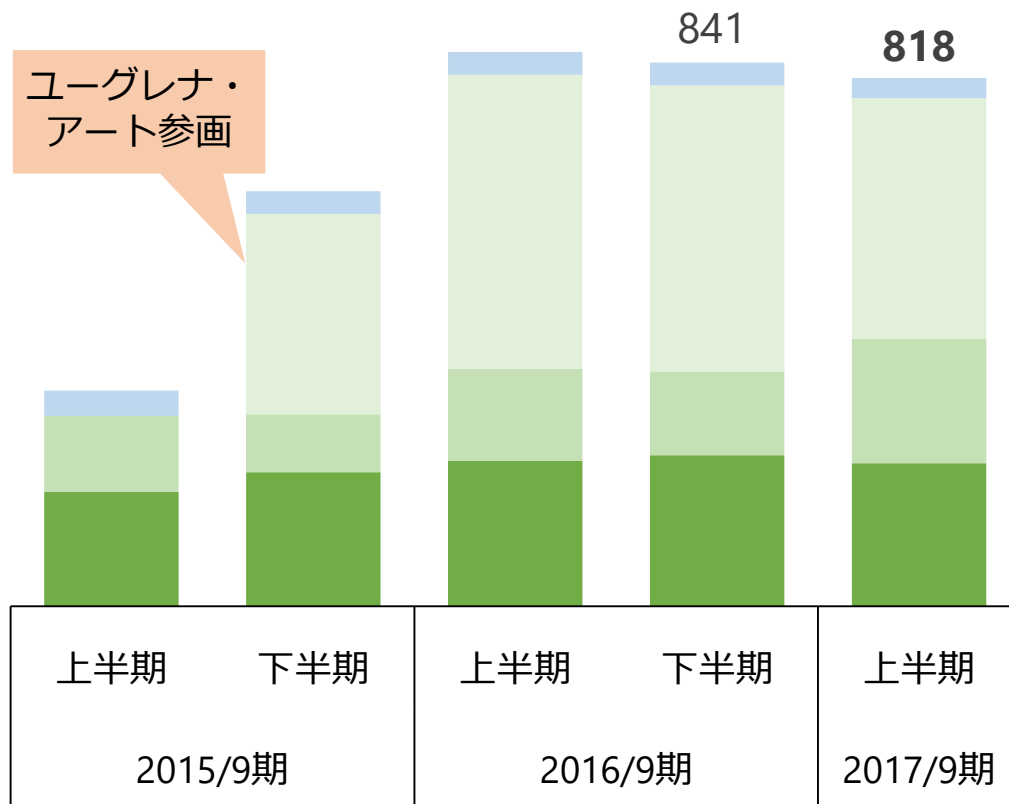


# 業績推移—グループ流通売上構造

(百万円)

- 食品（流通）
- 化粧品（流通）
- ユーグレナ・アート
- クロレラ・カラハリ

ユーグレナ・  
アート参画



**営業強化で化粧品が  
好調、食品も新商品  
投入で3月以降は  
取扱い店舗数拡大**

ユーグレナ・アートも  
営業体制の再構築により  
下期は反転増収を目指す

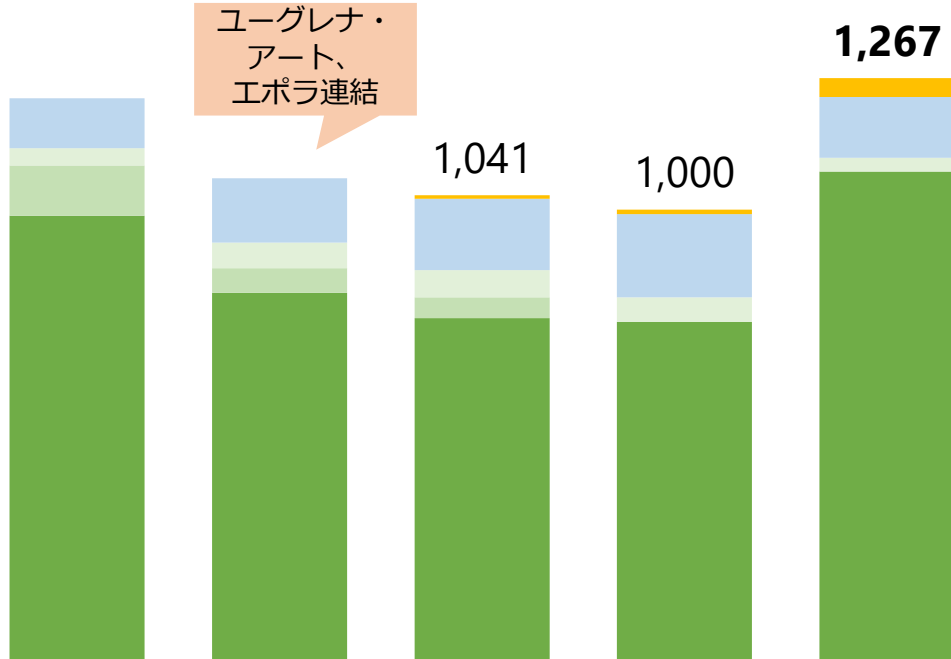


# 業績推移—OEM売上構造

(百万円)

- 海外
- クロレラ・カラハリスイカ
- 原料
- OEM (ユーグレナ化粧品)
- OEM (ユーグレナ食品)

ユーグレナ・  
アート、  
エポラ連結



上半期

下半期

上半期

下半期

上半期

2015/9期

2016/9期

2017/9期

## 武田薬品工業向け等の 食品OEM売上が拡大

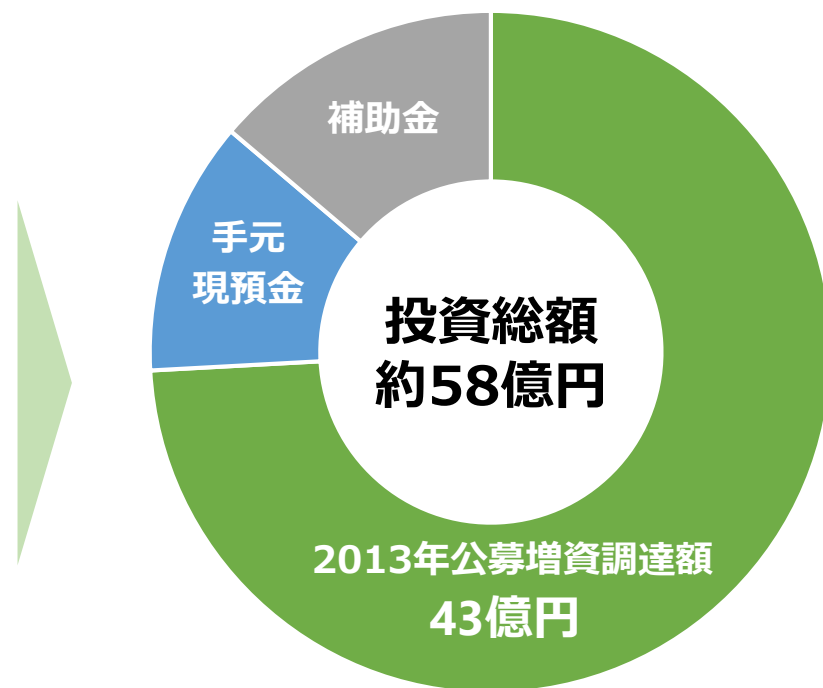


# 実証プラント投資資金の調達状況

神奈川県・横浜市からの支援が決定、設備投資資金の調達はすべて完了

支援事業名	神奈川県『セレクト神奈川100』
支援内容	土地・建物・設備への投資額に対する補助金（対象となる投資額の5%）および不動産取得税の軽減
支援事業名	横浜市『企業立地促進条例』
支援内容	家屋・設備への投資額に対する補助金（対象となる投資額の12%）および固定資産税・都市計画税の軽減

調達資金の内訳イメージ



# 補足資料： 会社データ



# 会社概要

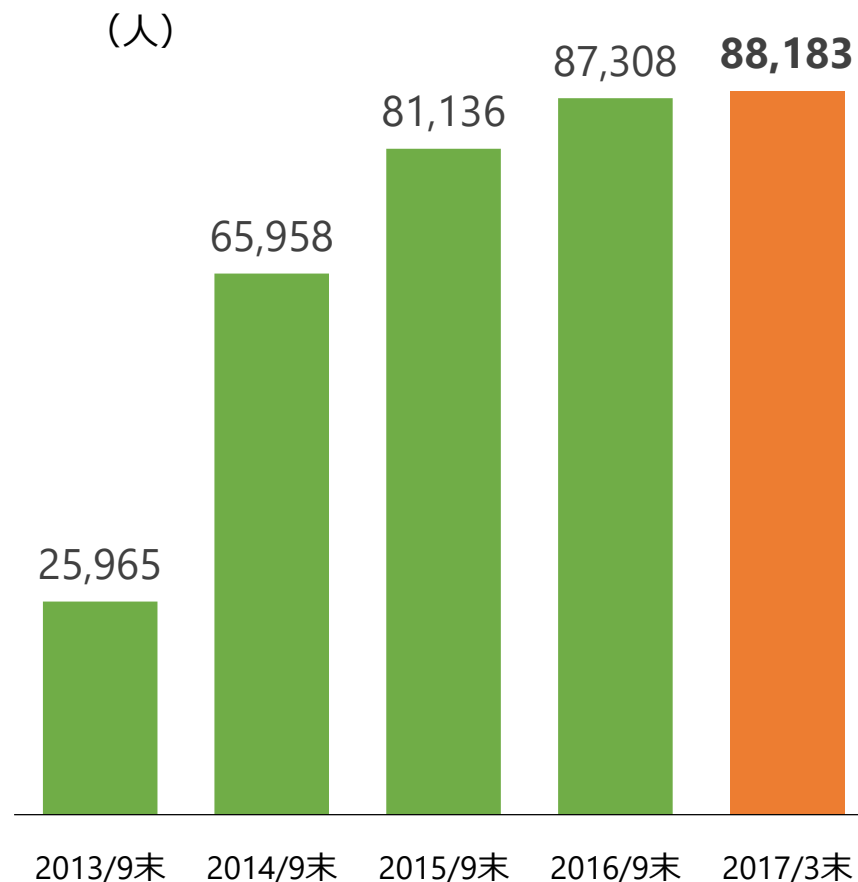
設立	2005年8月9日	
本店	東京都港区芝5-33-1	
資本金	48億7,188万円	2017年3月末
売上高	111億323万円	2016年9月期
従業員数	252名（連結）	2016年9月末
グループ会社	完全子会社7社、海外合弁会社2社（上海、ダッカ）	2017年5月1日時点
経営理念	人と地球を健康にする	
経営ビジョン	バイオテクノロジーで、昨日の不可能を今日可能にする	
上場市場	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	2931	
株主数	88,183名	2017年3月末

# 株主構成

氏名または名称	所有株式数 (株)	持分割合 (%)
出雲 充	13,629,300	16.40
インスパイア	1,787,000	2.15
J Xエネルギー	1,500,000	1.80
東京センチュリー	1,500,000	1.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行 (信託口5)	1,324,500	1.59
日本トラスティ・サービス 信託銀行 (信託口1)	995,900	1.19
日本トラスティ・サービス 信託銀行 (信託口2)	988,700	1.19
鈴木 健吾	922,500	1.11
日本トラスティ・サービス 信託銀行 (信託口)	908,600	1.09
日本コルマー	750,000	0.90

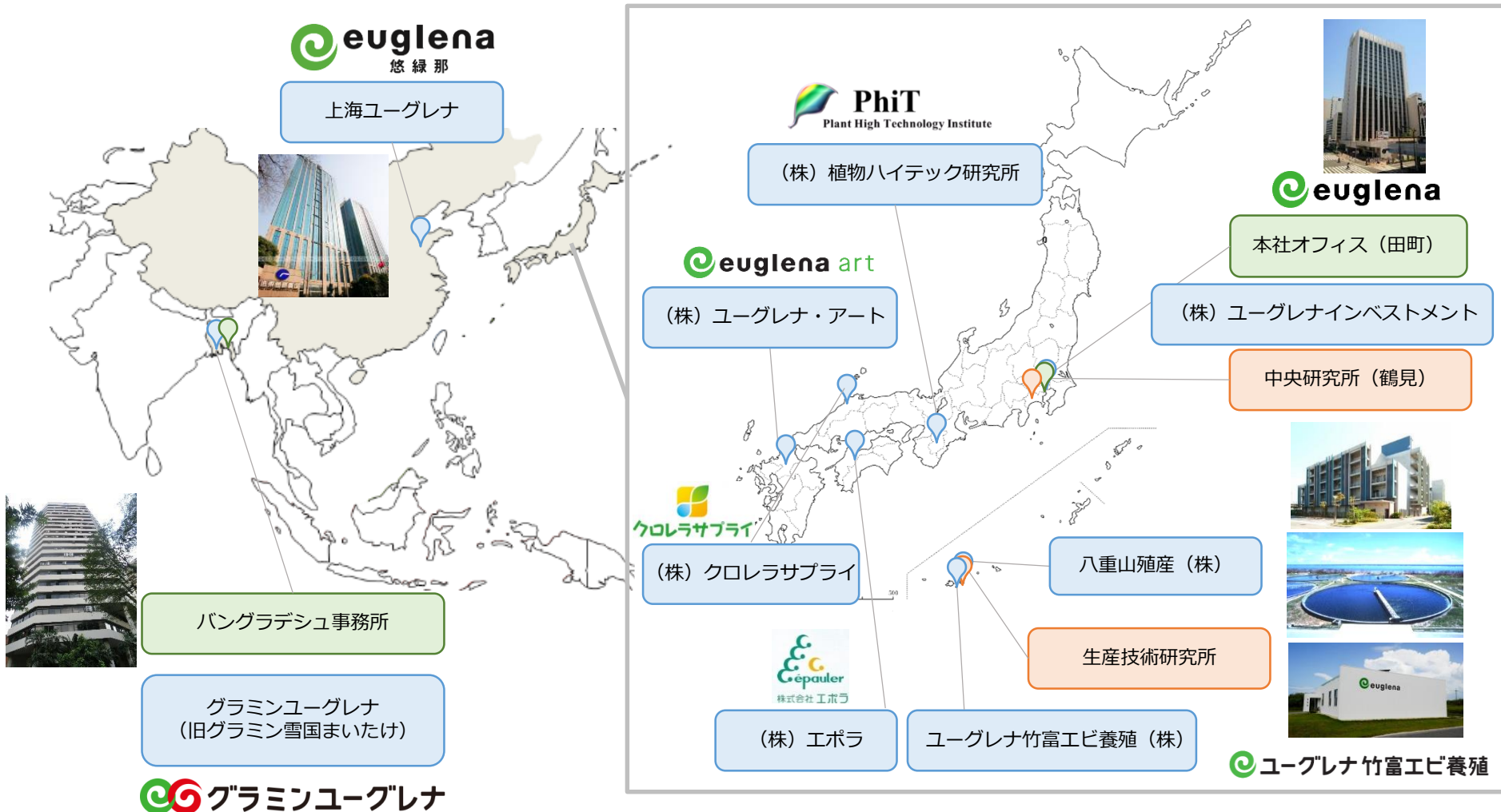
注：2017年3月末時点

## 株主数推移



# 拠点・グループ会社

## 国内外に14拠点、グループ会社10社



注: 緑色が当社事業拠点、赤色が当社研究拠点、青色が当社グループ会社拠点

**補足資料：**  
**バイオ燃料事業**

# バイオ燃料を使用した有償フライト実績

## 世界各国のエアラインがバイオ燃料による有償飛行を実施済

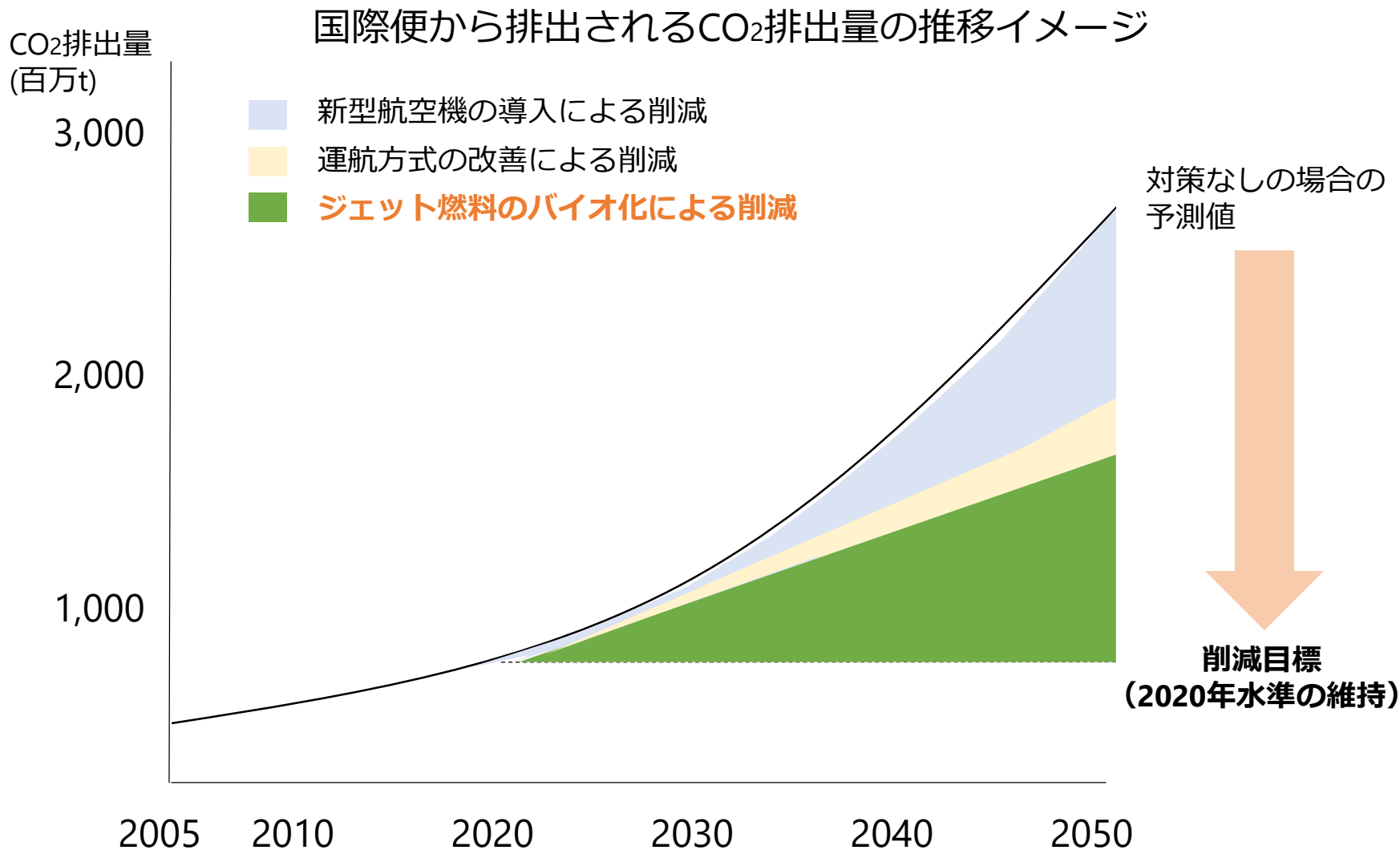


: バイオ燃料を使用した有償フライトの就航国

※IATA（国際運送航空協会）資料より当社作成

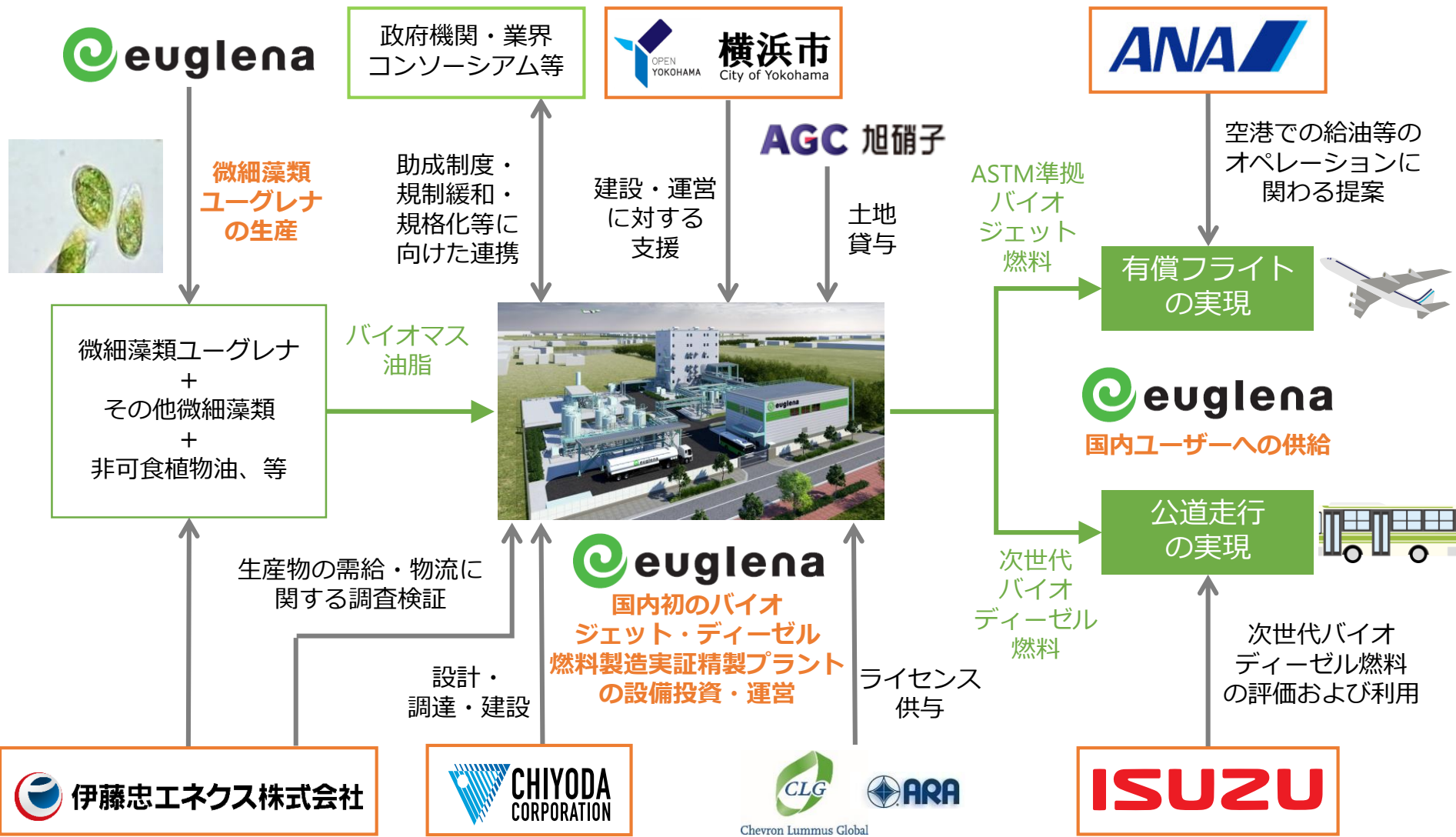
# 航空業界における温暖化ガス対策

## CO<sub>2</sub>排出量低減に向けてジェット燃料のバイオ化は不可避



※ICAO (国際民間航空機関) の資料より当社作成

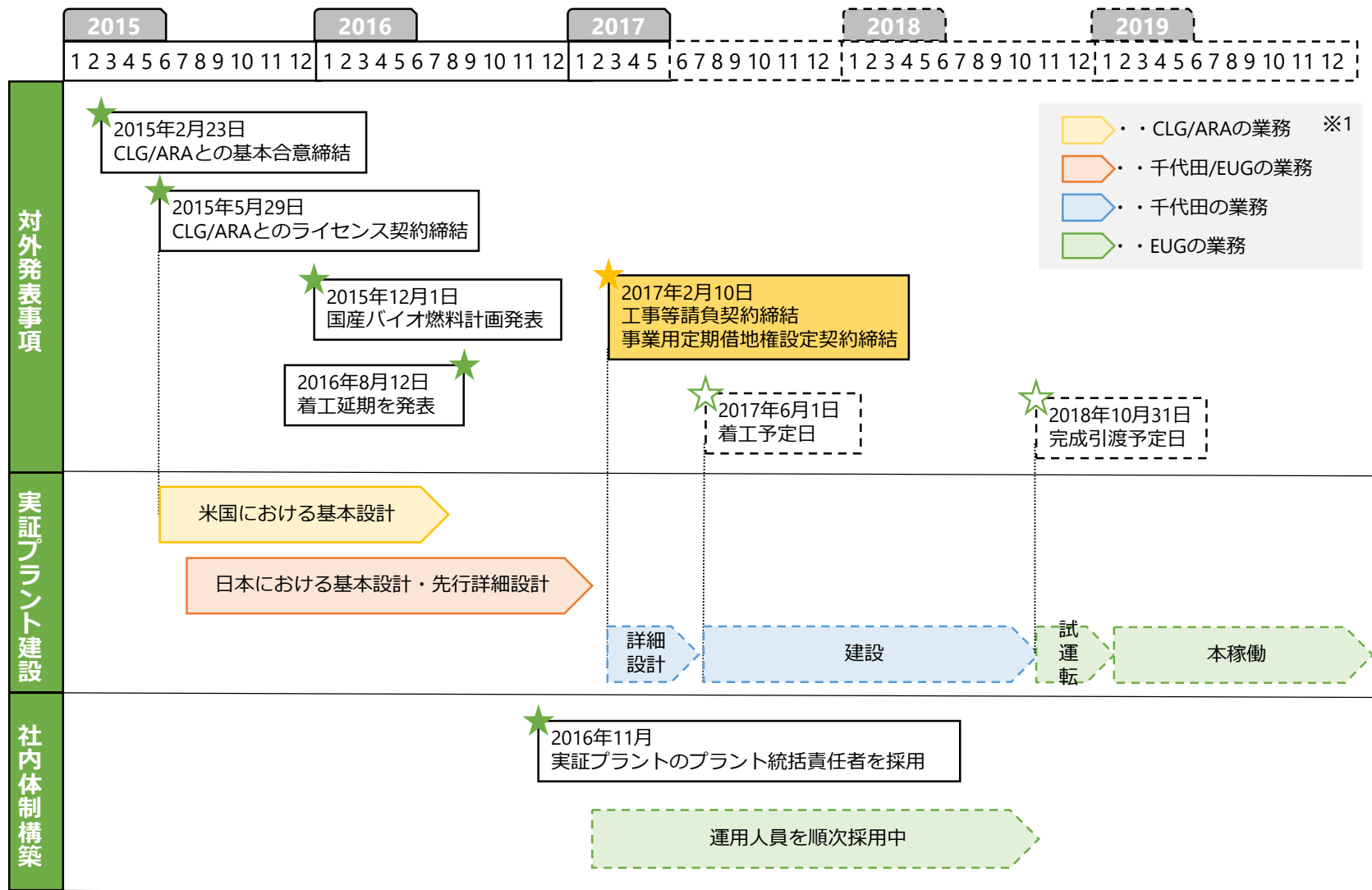
# 国産バイオ燃料計画ーバイオ燃料の製造・供給の体制



注： 橙字は当社の役割、橙色囲み枠は「国産バイオ燃料計画」の協力パートナー

# 国産バイオ燃料計画—これまでの歩みと今後のスケジュール

## 2020年迄の実用化に向けた製造面の体制整備は完了



(※1) CLG=Chevron Lummus Global、ARA=Applied Research Associates、千代田=千代田化工建設株式会社、EUG=株式会社ユーグレナ



# **補足資料： 新規事業分野の概要**

# 新規事業分野の進捗

前期に栽培した**緑豆**を**日本に輸出**。養殖エビの販売方法も拡充



昨年収穫分は**日本に輸出済み**



今期の作付けを開始



注：「グラミンユーグレナ」はバングラデシュ人初のノーベル平和賞に輝いたムハマド・ユヌス博士率いるグラミングループと、ユーグレナ社の合併企業の通称です



2017年4月より消費者向けツール「ポケットマルシェ」にてクルマエビの販売開始



竹富島のエビ養殖プール

# ユーグレナ・インベストメント

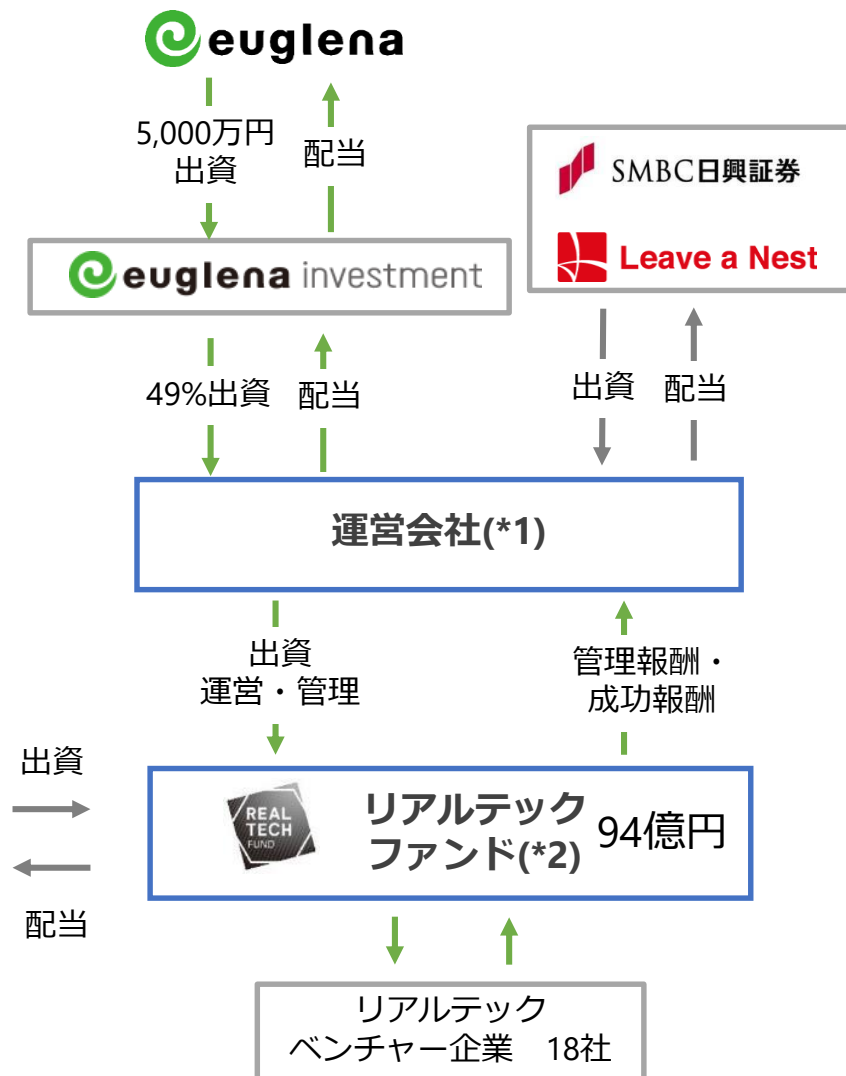
## 2017年4月に新たに7社が出資する第2号ファンドを組成

より多様な産業でのリアルテックベンチャーへの支援推進



\*1 正式名称：合同会社ユーグレナSMBC日興リバネスキャピタル

\*2 リアルテックファンド1号・2号投資事業有限責任組合



# ユーグレナ・インベストメント

## 設立2年で18社のリアルテックベンチャーに出資

 未来機械

: ソーラーパネル清掃ロボット製造販売



: 原子核の崩壊を用いた世界初の量子乱数チップの製造



: 高純度の亜鉛をリサイクルする技術の研究開発



: マスタスレーブ技術に応用した人型重機の開発

amelieff

: 遺伝子情報の受託解析や解析システムの開発



: 筋肉の電気信号を計測解析する技術のサイボーグへの応用



: 高効率、低コスト、高純度発色の有機EL材料の開発



: 低温排熱を電気エネルギーに変換し、回収する熱発電モジュールの開発



: 革新的な抗体作成技術を用いた抗体医薬の開発



: 医療機器の開発や製造販売、医療関連技術の事業化支援



: 物体の形状やひずみをリアルタイムで計測する装置の製造



: iPS細胞の分化誘導技術を活用した心臓の再生医療の研究開発

オリイ研究所

: 小型分身ロボット「OriHime」の開発



: 次世代蓄電デバイス及び高精度な測位信号受信機の開発



: 光渦レーザー加工技術によるマイクロニードルの開発



: あらゆるアプリケーションに対応する半導体レーザーを開発



: 台風のような強風時でも発電可能な次世代風力発電機の開発



: 低温低荷重・ダメージフリー接合技術による半導体パッケージング事業の展開